

第2回 丹波市子ども・子育て会議 会議録

日時：2024年1月31日（水）

14:30～16:30

場所：健康センターミルネ 2階会議室

【出席者委員】

岸上 萌、小田 敏治、石野 秀明、加納 史章、大槻 真也、中川 優一、八尾 由江、
白井 眞奈実、安田 千代、吉見 直人、細見 善弘、白井 里佳、後藤 和敏、砂川 雅城（14名）

【欠席者委員】

石田 真明、足立 映美、芦田 恒男、大木 康次、谷口 千尋（5名）

【事務局】

健康福祉部 健康・子育て担当部長 徳岡 泰
健康課長 大野 昌也
健康課 副課長 山本 美智子
子育て支援課長 西山 健吾
子育て支援課 認定こども園係長 福田 みさ代
子育て支援課 子育て支援係長 芦田 将司
子育て支援課 子育て支援係 主事 荻野 克典

【関係課からの出席】

教育部次長兼学校教育課長 池内 晃二
社会福祉課 福祉総合相談係 主幹 森口 智子

配布資料：【資料1】 こども大綱について

【別冊】 「丹波市こども計画」策定のためのアンケート調査について

【資料2】 関係団体へのヒアリングの実施について

【資料3】 今後のスケジュールについて

【資料4】 令和5年度子ども・子育て支援事業に関するアンケートについて

1. 開会

2. 会長挨拶

3. 議事

①丹波市こども計画の策定について

●こども大綱について【資料1】

・・・資料1について事務局から説明

- 【委員】 基本的方針の5において、「隘路（あいろ）」という言葉が使用されているがどれくらいの人が理解できるのか疑問である。この言葉は今日において適切なのか、どう思われるか。
- 【会長】 確かに難しい言葉であると感じる。あまり良い意味でもないので、もう少し考えてほしいかというのが本音である。

● 「丹波市こども計画」策定のためのアンケート調査について【別冊】

・・・別冊について事務局から説明

- 【委員】 就学前調査票 11 ページ、ヤングケアラーについて聞いたことがあるかの質問について、注釈でヤングケアラーの説明を記載されている箇所、介護・看病・世話と説明を入れているが「家事」も該当すると思う。付け加えることは可能か。
- 【事務局】 「家事」を加える検討をする。（就学・未就学両方）
- 【委員】 ヤングケアラーについて知っているか、という設問において認知度を聞く意図はなにか。実態の調査であれば、もう少し細かく質問項目等を設定したり、ヤングケアラーという表現をもう少し吟味してもよいのでは。
- 【事務局】 ヤングケアラーという表記について変更する余地があるかどうか検討する。
- 【会長】 WEB アンケート上では、回答者が次に回答すべき設問のみが表示される仕組みなのか。
- 【事務局】 お見込みの通りである。回答を進めれば自動的に回答すべき設問が表示される仕組みとしているのでWEBのほうが回答しやすいと思われる。
- 【委員】 WEB での回答者について、ルビ振りについての対応はどうか。
- 【事務局】 WEB 上でルビ振りができない仕様となっている。難しい漢字については漢字の横に括弧書きで読み仮名を入れる対応になる。確認して対応を検討したい。
- 【委員】 読み上げ機能はあるのか。
- 【事務局】 確認をして対応を検討したい。
- 【委員】 こども・若者調査票について、設問が難しかったり暗かったりする設問がある。（例えば問31・32など）もう少し明るい内容にできないのか。
- 【事務局】 回答者が答えづらい設問もあるかもしれないが、「特にない」という選択肢もある。実態的な部分を把握するためにもご理解いただきたい。
- 【事務局】 今後の市の施策に活かしていくために、こども・若者が抱える課題を聞き出したいと考えているため、このままの設問としてご理解をいただけたらと思う。
- 【委員】 確かに課題抽出も大切だが、現行の施策などでメリットを感じていることなどの明るい設問も入れるのはどうか。
- 【事務局】 逆の意味の設問を入れることも大切だと思うので検討をしたいが、全体のボリュームも加味した上で検討する必要がある。
- 【委員】 問30において、「望ましい子育て支援施策は何ですか」とあるが、「施策」という単語も難しいと思う。わかりやすい平らな表現にしたほうが良いと思う。
- 【事務局】 回答者に回答してもらいやすい表現を心がける。
- 【会長】 アンケート配布回収のスケジュールはどうか。
- 【事務局】 3月に入ってすぐに配布し、3月中に回収する見込みである。

●関係団体へのヒアリングの実施について【資料2】

・・・資料2について事務局から説明

【委員】ヒアリングについてはどういう形で実施される予定か。

【事務局】調査票が返ってきた団体様からピックアップして、ご訪問の上お聞かせいただく想定である。

【委員】ヒアリング調査は、全団体ではないという認識でよいか。

【事務局】全ての団体がヒアリングの対象ということではない。調査票の配布は、関係する団体全てにお送りするが、様々な団体の意見を拾いたいため、抽出の上ご訪問させていただく。

●今後のスケジュールについて【資料3】

・・・資料3について事務局から説明

【事務局】次の4月で委員の立場を交代いただく方がおられると思うが、引継ぎ等をお願いしたい。

【委員】任期途中で委員の交代も可能なのか。

【事務局】こども園等の保護者会については2年ごとの輪番制となっており、役員を交代されたら交代した方が、出てきていただくという認識。

【委員】任期が令和7年度までなので、そこまでは対応しないといけないと思っていた。

【事務局】今回は保護者会の会長という立場でご出席いただいていると認識していますが、3月末で交代される方もいらっしゃると思いますので、交代されたら、交代された次の方が出てきていただくということになる。

●令和5年度子ども・子育て支援事業に関するアンケートについて【資料4】

・・・資料4について事務局から説明

【委員】報告書の色合いが見にくい。

【事務局】WEB アンケートの回答については、自動的に集計されるシステムとなっており、色味の変更ができるのかなどは、確認し検討させていただく。

4. その他

●子どもの意見を聴く機会について【追加資料】

・・・追加資料について事務局から説明

【会長】2月のガイドラインが出てから検討を進めるということによいか。

【事務局】お見込みの通りである。

【委員】広報たんばでも中学生や若者が市長と意見交換されている写真が掲載されていると思うが、そういった機会を参考にするのはどうか。また、吉見小学校で教育振興基本計画の関連で意見を聴く機会があると情報を得たが、そういったものも庁内で共有し、参考にされても良いのではないか。

- 【事務局】こどもの権利条例の制定も検討をしている中で、こどもの意見聴取方法について、近隣自治体や県内の状況について調べている。ワークショップ等を開催しても、なかなか子どもからの応募がないというのが実態としてあるので、ご意見をいただきたい。
- 【事務局】また、先ほど委員がおっしゃった取組を、学校教育課で行っているので紹介したい。公民分野の学習の中で、中学3年生が、「丹波市の未来を考える」というテーマで、市長に取組内容を聞いてもらう場を設けた。小学校においても、吉見小学校で教育振興基本計画に向け、「子どもたちが望む学校」というテーマで、子どもたちと話す機会を設けようと思っている。こども計画においても、そのような場を提供できるのではないかと考えている。
- 【委員】若者の意見交換について、丹波市では高校生とOBの座談会を開催されていたが良い取組だと感じた。高校生などの若い世代の市への定着が課題であるので、OBの話聞いて定着するきっかけとなれば良いと思った。
- 【事務局】いただいた意見を参考に、子どもたちの意見を引き出しやすい環境づくりを検討していきたい。
- 【委員】何らかの子どもが集まる機会にあわせて、意見聴取の場を設けるという方法もあると思う。
- 【事務局】手法については他市町も苦勞しているようである。例えば泉南市では、子ども会議を毎月2回実施しているが、開催回数が多すぎて子どもが来ないという課題もあるようである。また明石市では、こども会議という名のタウンミーティングで、市長が子どもたちの意見を聞かれているが、何かのイベントと兼ねて開催するなど工夫をされている。他自治体の事例も参考にしながら手法を検討していきたい。
- 【委員】子どもたちが、本音を言えるような会になればいいなと思っている。地元の小学校の学校運営協議会では、「町の幸福論」というものを地元の年配の人が小学校6年生にまちの良さを伝えたり、これからのまちを子ども達と一緒に考えたりする機会を設けている。以前小学校にて、10年前のアンケート結果をもとに、将来どういうまちにしたいかという発表があった。大勢の前では言いにくいことも、小学校という小さい規模の中であれば、言いやすいのではないかと思った。
- 【委員】楽しみながら意見聴取できるとよいのではないか。以前、すごろくを自分たちで作成し、ゲーム形式で行った事例があり、多くの意見が出ていた。止まった場所に書いてある項目（例として「丹波市のいいところを一つ言いましょう」）について発言するというようなもので遊んでいるうちに出てくる意見もあるので、楽しいことと組み合わせればよい。

5. 次回会議日程

- 【事務局】次回の会議は令和6年6月を想定している。詳細日時は調整の上、連絡する。交代が予定されている委員は引継ぎをお願いしたい。

6. 閉会

- 【会長】閉会の挨拶

以上